

地理B第1問 (配点16点: 各2点、他3点) 【世界の自然環境と自然災害】問1 ③ 【基本】C マリアナ諸島・マリアナ海溝にあたる→狭まる境界

- A 紅海はアフリカ大地溝帯の一部。海なので沈水も正しい→広がる境界
- B ヒマラヤ山脈→狭まる境界
- D サンアンドレアス断層→ずれる境界

問2 ② 【基本】

- ④ 1月が夏 →ケープタウン C s
- ③ 冬、-3度未満→札幌 D f
- ① 冬の気温10度近く→チュニス C s
- ② 冬の気温0度近く→レイキャビク C f c

問3 ④ 【基本】説明文をよく読んで判断。ウユニ塩原は 年に出題されている

- K 乾燥気候だが、標高3000mもない
- L 熱帯
- M 温帯
- N 乾燥帯で、高山地域

問4 ② 【基本】▲はすべて温帯→褐色森林土

- ② 褐色とある。腐食層も多く、肥沃。
- ① 酸化鉄など、赤色土壌→熱帯のラトソル
- ③ 貧弱な植生→乾燥帯の砂漠土
- ④ 灰白色の土壌→冷帯のポドゾル

問5 ③ 【やや難】b南米が基本だが、北米は難しい。

- a 火山灰が成層圏にまで達し、日光を遮ったため平均気温が低下したので、誤り
- b 南米では海水温が上昇し、多雨になる。北米も南米同様、寒流が流れているので、同様の現象が起こると推測。東南アジアは例年と違い、干ばつが起こるので、少雨で正しい。帝国教科書p39の図。

問6 ③

- P 日本付近に雲なし→高気圧に覆われている→イ
- Q 日本付近に筋状の雲→冬型の気圧配置→ア
- R 日本付近に前線の雲→ウ

■ のエルニーニョは難しい。例年とずれることはわかるが、多雨・少雨どちらに外れるかはよく勉強していないと判断できないだろう。

第2問 (配点18点：各3点) 【世界の農牧業】

- 問1 7 ③ 作物の栽培条件を考える
- ① 最も熱帯で栽培→バナナ
 - ② 熱帯から乾燥帯・温帯まで幅広く栽培→綿花
 - ③ 中緯度を中心にやや冷涼まで栽培→大豆
 - ④ 最も寒さに強い→ライ麦
- 問2 8 ② 図の訂正。沖縄、台湾、シチリア島などが抜けていた。問題に影響はなかったが、訂正がどこかわかりにくく、訂正箇所を探す生徒が続出。時間ロスの原因になる。
- ② アマゾン低地では稲作はない
 - ① 五大湖周辺は酪農地帯
 - ③ サハラ砂漠のラクダの遊牧
 - ④ 長江河口は稲・小麦混合地域
- 問3 9 ④ 【易】アムダリア・シルダリアは綿花地帯。砂糖黍はありえない。
- ① オガララ帯水層の枯渇が問題となっている。
 - ② イランはカナート、北アフリカはフォガラ。乾燥帯はなつめやし栽培されている。
 - ③ オーストラリアの小麦地域はマリー・ダーリング盆地が中心。スノーウェーマウンテンズ計画。
- 問4 10 ① 中国が圧倒的→豚肉の生産。中国は世界の半分近くの豚肉の生産、豚の頭数がある。
- ③ 唯一、オーストラリアにある→牛肉の生産
 - ② エジプトにある。イスラム圏は豚肉は食べない→牛肉の輸入
 - ④ 残り→豚肉の輸入
- 問5 11 ②
- X 1人あたり農地面積が最大グループ →北アメリカ
 - Z 1人あたり農地面積が広く、収量も多い→西ヨーロッパ
 - Y 最も1人あたり農地面積が狭い →南アジア
- 問6 12 ④ 図は勉強になる。地域も当てられるようにしたい
- ① 組み換え作物は農薬などの散布など労働力を抑えられるため、企業の農業の方が導入が進むので正しい。
 - ② 図にある国はそれだけ組み換え作物を積極的に導入していることを示しているので正しい。
 - ③ 図にないので、栽培は少ないことがわかる。
 - ④ 日本は輸入までは禁止していない。また、使用も禁止していない。表示義務があるだけである。

■農牧業が2年連続で出題されていなかった。問題としては難しくないものばかりである。図6は遺伝子組み換え作物が主要生産国で進んでいることがわかる。

第3問 (配点17点：18 2点、他3点) 【都市・村落・生活文化】

- 問1 13 ② 人口1位都市はイスタンブール。首都はアンカラ。
- ① プライメートシティ→メキシコ
 - ③ 首都以外の2都市が突出→オーストラリア
 - ④ 首都が1位 プライメートシティになっていない→イタリア

問2 14 ⑤ 【良問】都市景観の問題は図のイラストがなかなか手に入らず難しかったが、うまく作られている
ア 城壁で囲まれた政府機関(クレムリン)→モスクワ
イ 中心部にCBD→シカゴ
ウ 中心部に歴史建造物、郊外に副都心(ラ・デファンス)→パリ

問3 15 ③ 【基本】新田集落の林地は薪の燃料供給地、落ち葉の肥料供給地としての役割があった。
① 農地は規則的に短冊状になっている→新田集落
塊村は自然発生的にかたまっている
② インナーシティ問題は都心周辺での問題。無秩序の開発はスプロール現象
④ 都心へ回帰していない。

問4 16 ④ 【基本】ヨーロッパの民族・宗教はき重要。地図帳で確認。
カ イスラム・正教会 →C バルカン半島
キ カトリックのみ →A スペイン
ク 北部にプロテスタント→B ドイツを含む

問5 17 ① 【基本】仏教→スリランカ
② ウズベキスタン 色彩タイル、モスク=イスラム、交易
「サマルカンド-文化交差路」
③ フィリピン 山間部の棚田 「コルディエラの棚田」
教会 「フィリピンのバロック様式教会群」
④ スウェーデン 高品位の鉄鉱石 「エンゲルスベリの製鉄所」
中世の都市同盟 「ハンザ同盟都市 ヴィスビュー」

問6 18 ④ 【易】牛肉・豚肉を食べない→インド
① カナダ ←アメリカとの経済的結びつきが強い。ロブスター。
② イラン ←アメリカと対立
③ イタリア ←ピザ

■ 16 の世界遺産は写真や文章など過去に幾度か出ている。地図帳にも世界遺産の地点がのっているので、確認しておきたい。全体的に取り組みやすい問題であった。

第4問 (配点18点：各3点) 【北アメリカの地誌】

問1 19 ③
① サケ・ニシン →海岸のB
② 砂漠 →乾燥気候のD
③ 草原、バイソン→プレーリーのC
④ 丸太 →タイガのA

問2 20 ⑥
イ ケベック州に多い→フランス語
ウ 南部に多い →スペイン語
ア 北部にわずか →ロシア語

- 問3 21 ② 【難】アジア系が高学歴であることを見分けるのが困難
- ③④ 修士号からアフリカ(黒人)・ヒスパニック
 - ④ 製造業・農林水産業が多い→低賃金労働力として働くヒスパニック
 - ③ 学歴が④より高い→アメリカでの歴史が長い黒人
 - ① 修士号が多い→留学を目的にくるアジア系。アジア系の人数も少なく、高学歴層の割合が多くなる。
 - ② 白人の修士号は多いが、人口が多いため割合は低下する。製造業の割合が①より低い
- 問4 22 ①
- ④ 米 ←日本が多い
 - ③ トウモロコシ←メキシコが多い
 - ① 小麦 ←どの国も多い 主食である
 - ② 大豆油 ←アメリカが多い。油脂類の消費が多い。
- 問5 23 ③ 読解問題
- ① 正しい。五大湖周辺やシカゴなどの取引所がある。
 - ② 正しい。山岳地帯なので人口密度は低くなる。
 - ③ 誤り。 農業生産額が少ないのは北東部などの都市近郊の小さい州やロッキー地域
 - ④ 正しい。北東部はニューヨークなどの世界都市がある。
- 問6 24 ② 1990年代半ば～2000年代前半のNAFTAが上位を占めている時の統計ものせて欲しい。ちょっと不親切。
- K 日本 ←1980年代に1位
 - N 中国 ←2009年に1位
 - L メキシコ←NAFTAで主要貿易国
 - M イギリス←最も少ない

■北米は2009年にカナダ地誌として出題されている。21は白人とアジアの判別は難しい。22の大豆と小麦も判別に迷った生徒も多いだろう。農業などオーソドックスな問題が少なかったと思う。

第5問 (配点15点：各3点) 【現代の諸課題】

- 問1 25 ② 読解問題 ②を読んだ時点であとは読まなくて良い。
- ① 出生率の最低が15%、死亡率の最高が15%なので正しい。
 - ② 一人っ子政策は中国
 - ③ 正しい。発展途上国の代表的な問題点。
 - ④ 該当地域は出生率が15%未満なのに対し、死亡率は15%以上になっている
- 問2 26 ④ 【やや難】消去法で解くしかない。例外地域は？である。
- ① 正しい。トウモロコシを含め、主要な主食で革命があった。
 - ② 正しい。緑の革命の内容
 - ③ 正しい。肥料は石油から作られる。化石燃料への依存は必然的に高まる。
 - ④ 誤り。 自給的な地域に限定というが、例外の地域もあるかもしれない。①～③が誤りとしにくい。では、例外の地域は？

- 問3 27 ③ 【難】判別はかなり難しい。1965年からの増減であることにも注目。
 イ アフリカ ←単位面積当たりの収量の増加が最も少ない
 ア 東南アジア ←緑の革命で穀物生産量の増加が最も多い
 ウ 南アメリカ ←残り
- 問4 28 ③ 【やや難】湾岸戦争でクウェートの石油施設が攻撃。海洋汚染は考えられる。
 ① 石炭ではなく石油
 ② 鉄道ではなくパイプライン
 ④ インドネシアではなくマレーシア・ブルネイ。インドネシアが関係ないことのみ誤りとするのはやや難か。
- 問5 29 ②
 ④ 地熱→ニュージーランド
 ③ 水力→カナダ
 ② 太陽光・風力→スペイン
 ① 残り→フィンランド

■毎年、オーソドックスな問題がほとんどだが、今年は判別が難しい問題が多かった。地誌の後半から統計問題が結構続き、集中力もきつくなってきたのではないか。

第6問 (配点16点: 30 31各2点、他3点) 【大井川流域の地域調査】

- 問1 30 ③ 【易】写真をみたら一目瞭然
 C 上流 →奥泉
 A 中流 →地名
 B 下流 →島田
- 問2 31 ① 【易】地形図の読図
 ① 工場はあるが、発電所はない。発電所は送電線をたどればわかる。
 ② 3本の送電線がある。
 ③ 何度か交差し、トンネルもある。
 ④ 交番や郵便局がある
- 問3 32 ① 【易】写真の傾斜と文章から判断できる
 倉平 山岳部にある→傾斜がある →P
 牧ノ原 台地にある→傾斜はあまりない→Q
 現在、茶栽培の中心 →イ
- 問4 33 ④ 新旧地形図の読図
 ① 正しい 1895年の地図で破線の道がいくつかある。
 ② 正しい 旧地形図の水田記号を確認。新地形図では鉄道も工場もある
 ③ 正しい 東海道と判断するのは1895年の地図でまだ宿場町が残っており、街道があることがわかる。
 ④ 誤り ほぼ同じ位置だが、架橋の角度が違うことから全く同じではない
- 問5 34 ③ 【基本】
 ク 吉田 ←漁業従事者がいる
 キ 川根本町←林業従事者がいる 最も山岳部にある
 カ 島田 ←残り

問 6 35 ③ 【基本】

サ 扇状地→堆積地形

シ 大井川の流れを判断。上流は北西部。

- 地形図の読図は地図記号がわかれば簡単だが、疲れたときに細かい記号を見るのはつらいかもしれない。そのほかはよくできた問題である。

<http://chirikyoku-lj-hp.web.infoseek.co.jp/>